

フォーラムニュース

特定非営利活動法人奈良21世紀フォーラム 会報

2013年夏号 No23

I 平成25年度通常総会開催

◎ 新理事長決まる

堀井理事長 就任ご挨拶

奈良21世紀フォーラムは、21世紀を目前にした1999年より活動を開始し、翌2000年4月に特定非営利活動法人の認証を受けました。当時はまだNPOという言葉もそれほど馴染みの無い時代でしたが、志を同じくする仲間が協力して様々な活動を展開して参りました。設立記念イベント、梯剛之ピアノリサイタルを成功させた時の感動はいまもよく覚えています。

初代の理事長には大和ハウス工業顧問の石橋毅一氏にお願いしました。石橋理事長の時代に、吉野川源流の森を守る活動、奈良の食の探訪、書の文化の伝承、万葉けまりの復元など地域に眠る資源と可能性の発掘と情報発信を展開し、活動の基礎を築いて頂きました。

第2代目理事長は平成19年より、東大寺長老の森本公誠氏が引き受けて下さいました。また奈良交通のご協力を得て事務局体制も一層強化されました。折しも奈良県では平城遷都1300年の節目を迎えるなか、奈良21世紀フォーラムでは、聖武天皇、光明皇后の衣装復元に取り組み、近畿日本鉄道創業100周年事業の一つに組み入れて頂き、見事な衣装が出来上がり東大寺ミュージアムに展示されました。これらの活動成果は「聖武天皇・光明皇后ご礼服一式復元製作報告書」にまとめられています。

発足以来の事業とあわせ、大きな成果をあげた歩みに、森本前理事長をはじめ、ご尽力された皆様に心より御礼申し上げます。

これから、日本が再生に向けて元気を出そうといういま、地域の自立と民による公共活動の力は、ますます重要になって参ります。



堀井理事長

プロフィール

桜井市在住

現 公益財団法人関西・大阪21世紀協会理事長

社団法人心学明誠舎 理事長

一般社団法人うるわしの桜井をつくる会会長

元 NHK理事・営業総局長

“日本の素顔”“新日本紀行”“NHK特集”など
ドキュメンタリー番組を担当。

日本芸術祭優秀賞、日本新聞協会賞などを受賞。

ボランティア活動に於いては、個人の自己実現と社会貢献の心が重なりあったとき、大きな力が出ると私は考えております。

これまでの実績を踏まえ、参加される個人の多様な意思を尊重しつつ、新たな活動も提案して頂き、一人はみんなのために、みんなは一人のために力をあわせて行きたいと思いますのでどうかよろしくお願い申し上げます。

◎活動実施方針、事業計画決まる

活動実施方針

【奈良県の歴史文化とそれを取り巻く自然環境の魅力を再発見し、奈良県の活性化に結びつく提案活動を行う。】

【奈良県の観光立県としての持続的な観光振興のための取り組みに積極的に協力する。】

【奈良県内に根を下ろし、発展し続ける企業の伝統、文化、経営理念と奈良の風土とのかかわりを調査、記録し、県内で活躍する企業を県内外に紹介する。】

通常総会

平成25年度の理事会・通常総会を、6月4日(火)東大寺総合文化センター会議室において開催しました。

総会では、平成24年度の事業報告と決算の承認、平成25年度の活動実施方針、事業計画および予算を決定しました。

次に役員を選任を実施しました。

平成19年度から理事長を務めていただきました森本理事長、山口副理事長が退任され、堀井副理事長が理事長に、中村理事が副理事長に就任されました。

退任された森本理事長及び山口副理事長は引き続き特別顧問・理事として会の運営に助言をいただきます。

また、新たに奈良大学教授の上野誠氏を理事に選任しました。引き続き就任いただいた方をあわせ、理事29名、監事2名でフォーラムの運営を行ってまいります。

(役員名簿は12ページ)

活動実施方針は前記のとおりですが、事業計画は、フォーラム発足時からの事業である「万葉けまり」の復元、「書の文化」の伝承、「吉野川源流の水源地の森を守る活動」支援の3事業を継続するほか、「奈良の食文化」の伝承事業および「奈良県内神社仏閣等、歴史文化資源」の顕彰事業は、「奈良の歴史文化資源」の探訪とあらた



め、奈良県内の神社、仏閣を初めとする文化資源を顕彰し、新たな視点で紹介するとともに、食文化を発掘し、観光資源として地域活性化に結びつける提案活動を行うこととしました。

新たな事業として「奈良県企業の企業文化、企業風土」の調査、紹介、および奈良県が推進する記紀・万葉プロジェクトに協力し桜井市にある昭和期に活躍した文化人、知識人によって揮毫された63の万葉歌碑の紹介をする「万葉歌碑」の顕彰の2事業を行うこととし、継続事業と合せて6つ事業を行うことを決定しました。

総会終了後、奈良大学文学部教授の上野誠先生に「三輪山の宴」と題して記念講演をしていただきました。

日本書紀の崇神天皇の御世の歌を題材に当時の宮廷での宴会の様子、そして宴会での作法等についてお話をいただきました。記紀万葉の時代の宴会（食事作法）が現在の宴席での作法、礼儀に連綿と受け継がれていることなどのお話をいただきました。



講演される上野教授

平成25年度の事業計画

- ① 「万葉けまり」の保存
- ② 「書の文化」の伝承
- ③ 「奈良の歴史文化資源」の探訪
- ④ 「万葉歌碑」の顕彰
- ⑤ 「奈良県企業の企業文化、企業風土」の調査、紹介
- ⑥ 「吉野川源流の水源地の森を守る活動」支援

以下の事業は24年度で終了しました。

- 「聖武天皇と光明皇后の衣装等復元製作の監修報告書」の作成
「聖武天皇・光明皇后ご礼服一式復元製作報告書」

Ⅱ. 25年1月以降に実施した事業

1. 万葉けまりの保存

- ◎ 静岡県藤枝市で万葉けまりの披露

平成25年1月13日（日）に藤枝市郷土博物館主催お正月イベント「万葉けまり

実演会」に参加、けまりの披露をしました。

藤枝市は古くからサッカーの盛んなところとして知られ、多くのＪリーガーを輩出しておりますが、その地でサッカーのルーツである万葉けまりの紹介を行いました。

実演披露の前日（１２日）福嶋監事を団長に１４名の毬子が奈良を出発しました。現地へは午後２時到着、早速藤枝市役所のサッカーチームと親善試合を行いました。

藤枝市役所サッカー部は全国自治体職員サッカー選手権大会で２６回の優勝、天皇杯本大会への３回の出場などの実績がある強豪チームですが、当日は当フォーラムのメンバーの年代に合わせ５０～６０歳代の方に参加いただき親善、交流を深めました。

翌１３日は晴天に恵まれ、白く輝く富士山を望みながら万葉けまりを披露しました。

前日サッカーをした、藤枝市役所サッカー部の皆様にも参加をいただき、けまりのルーツやルールなどの説明をした後、模範演技を実施しました。さらに藤枝市役所サッカー部と当フォーラムの毬子との対戦を行い、さらなる親善を深めました。

見学いただいた多くの方から、けまりは京都をイメージしており奈良のけまりを見るの初めてと言われました。日本書紀に記載され、サッカーのルーツは奈良の万葉けまりであることを説明し啓発に努めました。



万葉けまりの披露

２．奈良の食文化の伝承・奈良県内の神社仏閣等、歴史文化資源の顕彰

◎ 「達磨寺」初詣と、谷家伝来のおせち料理の食事会」を開催

実施日 平成２５年１月１２日

参加者 ２７名

新春の１月１２日（土）王寺町にある聖徳太子ゆかりの達磨寺に集合、初詣をいたしました。本堂でご住職の日野周圭師から達磨寺のゆかりや、所蔵の文化財、境内にある遺跡の説明をいただきました。

達磨寺は千手観世音菩薩、達磨大師、聖徳大師を本尊とされていますが、聖徳大師がこの地に遊行された時、道に臥し餓死に瀕して



日野住職の法話

いた一人の異人に衣食を与えた説話があり、この異人が達磨大師であるとされ、聖徳太子が御自刻の木像を安置されたのが達磨寺の創建になるそうです。

達磨寺と呼ばれる寺院は全国にたくさんあるそうですがほとんどは通称で真の達磨寺は2か寺だけとのお話でした。

重要文化財の聖徳太子木像や達磨大師木像を拝観し、その後境内をめぐり聖徳太子の愛犬雪丸塚、達磨太子御杖竹といわれる一夜竹、達磨塚は本堂の下にあり拝観は出来ませんでしたが、6世紀に作られた達磨古墳群の円墳、織田信長に滅ぼされた松永久秀の墓などの見学をいたしました。

達磨寺拝観後、旧家谷家に移動をしました。



谷家のおせち料理

谷家は、建武の新政の実現に活躍した伯耆の国の豪族名和長年が大和へ帰農したのが始まりで、屋号は「名和屋」とよばれています。

到着後、奈良中央信用金庫相談役中嶋実男様の司会で観世流謡曲堀川禮臣先生の新春にふさわしい謡曲を聞かせていただきました。

その後、谷家に伝わり、奥様が指導され、新地の「かが万」が調理、盛付けをされたおせち料理、お雑煮をいただきました。

食事終了後、福岡太宰府「和菓子藤丸」がこの日のために作られたお菓子を表千家の抹茶いただき、食事会を終了しました。

訪問した谷家本家は、安政元年（1854年）から7年の歳月をかけ建築されたもので、入母屋造りのトガ普請で建築されており、材料は天川村神童寺谷のトガを使用し重厚な母屋を支えるため2本の大黒柱があります。

お座敷に奥に続く茶室は大和郡山藩柳沢家から移設したもので、当日は、茶道具商市田朝芳庵様により設えられた谷家のお道具を拝見させていただきました。

お料理をいただいたお座敷には、明治維新、官軍の総大将であられた有栖川熾仁親王の筆による「神米舎」の書や、江戸時代後期の文人画家岡田半江の「龍」の絵などが飾られておりました。

その他、桔木（ハネギ）の利用、4尺幅の一枚板の玄関戸など、宮大工によって建てられた建物の重厚さ、文化価値ある調度品、谷家住居の歴史がうかがえました。



説明をされる 御当主谷様

◎記紀万葉の里 桜井市忍阪（おっさか）地区探訪

実施日 平成25年5月25日

参加者 27名

好天气に恵まれた朝、参加者25名は忍阪区の森本区長さんの歓迎の言葉をお聞きしたのち、桜井市のボランティアガイドに引率され2班に分かれて近鉄大和朝倉駅を出発しました。

大和朝廷の重要拠点であった忍阪の外鎌山（とかまやま）（地元では通称忍阪山）北側周辺には100近い古墳が点在しますが、朝倉団地造成に伴い一部古墳を移設し保存している古墳公園をまず訪れ、日本で最初に発見された六角形石室を持つ8号古墳を見学しました。この古墳は、「榛原石」を使用した桜井や榛原地域に約20基ほどが限定して存在する貴重な古墳だということでした。



古墳公園

さて、公園を出ていきなり山登りに挑戦です。案内状には、「初心者向きの軽いトレッキングです云々」とあって、心の準備もなしにガイドさんの後について外鎌山（標高293m）の登山道に入りました。道幅は人一人がやっと歩けるぐらいの狭さで、しかも急勾配です。日頃の運動不足と心の準備不足で喘ぎながら這うようにしてとにかく35分ほどで山頂にたどり着きました。後の班はさらに時間を要したようです。

しかし、心地よい風と木陰に囲まれた頂から見はるかす眼下の光景は、一瞬にして往路の苦労を吹き飛ばしてくれました。右に三輪山と山裾を流れる大和川（初瀬川）、その先に生駒の山並み、左は、鳥見山と大和三山の香久山その向こうに畝傍山そしてさらにその向こうに葛城山。中央に目を転じると近鉄大阪線が一直線に伸び、その上をオレンジ色のビスタカーが耳成山に向かって駆け抜けていきます。その向こうにはかすんではいるものの二上山がその存在をアピールしています。さらに条件がよければ大阪四天王寺の五重塔もみえるとか。外鎌山の山裾は大和盆地の袋の口元にも似て、古代の歴史が展開されたときそのままにしっかりと結わえているかのようです。

漆の木に注意しながら外鎌山を下山。今は休耕田になっている棚田を抜けると、「大友皇女押坂内墓（おおとのひめみこおしさかうちはか）」に。大友皇女は、欽明（きんめい）天皇の皇女で兄弟には推古（すいこ）天皇や用明（ようめい）天皇がおり、聖徳太子の叔母に当たる人です。この墓は、現在宮内庁で管理されています。

大友皇女押坂内墓から下ると、「鏡女王押坂墓（かがみのひめみこおしさかほ）」に。鏡女王は、近江国の豪族鏡王（かがみのおおきみ）の娘で額田王（ぬかたのおおきみ）の姉とも言われ、舒明（じょめい）天皇の皇女で天智（てんち）天皇の妃であったが、後に藤原鎌足の正妻となります。この墓の土地は公家の九条家の土地で、藤原家に嫁いだ鏡女王を皇族扱いとして葬ったものとされ、宮内庁ではなく現在談山保存会が懇切にお世話をされています。また、風香さんという万葉集に魅かれた女性の自作自演

の万葉びとの歌の紹介をしていただきました。

墓の側を流れる一筋のせせらぎの中に、代表的な万葉歌人でもあった鏡女王の歌碑が立っています。歌碑には、万葉集学者犬養孝の揮毫で「秋山下 樹下隠 逝水乃 吾 許曾益目 御念従者」と刻まれています。歌の意味は、「秋山の木の下を隠れて流れて行く細い流れの水が、次第に水かさを増すように、私のあなたに対する思いのだけは、あなた自身の私への御思いよりはまさっているのです」万葉の時代と変わらぬ山や野の中で、川の流れの音が、鏡女王のあつい胸の内を今でも語っているようです。

「舒明天皇押坂内陵（じょめいてんのうおさかのうちのみささぎ）」では、地元では古墳博士と呼ばれるボランティアさんから説明を受けました。



舒明天皇押坂内陵

中大兄皇子の父舒明天皇と母親の田村皇女（たむらのひめみこ）が合葬されている墓で、近年の調査で我が国最初の八角古墳と確認されています。江戸時代に大きな台風の後地元の農民が墓の石室を覗き、壇があったことを見たとも伝えられています。上八角下方墳、3段の方形壇の上に平面が八角形で2段の墳丘で造られていることはほぼ間違いなのですが、陵を管理する宮内庁は八角形を今なお認めようとはしないそうです。当時の

天皇は「大君（おおきみ）」と呼ばれ、国土の四方八方を治める姿を視覚的に誇示すべく八角形で表現したといわれ、この形は、玉座に就くものしか使えないもので天皇そのものを表したものです。平城京遷都後は、火葬墓となり古墳は造られなかったのですが、八角形の舒明天皇陵が近代天皇陵のモデルとなっており、明治天皇陵以降はこの形が採用されていると言います。

古墳博士から古墳の知識のおこぼれをいただいた後、神武東征の際天皇がこの石に隠れ石垣をめぐらし矢を持ち盾とした「神籠石」という巨石を見て、12時40分石位寺（いしいでら）に到着しました。

石位寺は、住職のいない無住寺で忍阪区の皆さんで管理運営しておられます。ここに、国の重要文化財「伝 薬師三尊石仏」が安置されており、伝承では、額田王の念持仏ともいわれています。彩色されたあとが唇と着衣にわずかに残りほのかな温かさが伝わってくる石仏です。参加者は心をこめて参拝しました。



伝 薬師三尊石仏（石位寺）

飛鳥・奈良をこよなく愛しその四季折々の佇まいをカメラに収めた故入江泰吉の写真が並べられ、石仏や建て替え前の石位寺の寄木造の旧本堂の姿もありました。

隣の建物で、桜井市の観光ガイドの会会長の中川さんのご挨拶の後、区の皆さんの配膳サービスをうけ、地元の料理屋さんの手作りのお弁当をいただきました。



天王山古墳

食事後、天王山古墳へのオプションツアーには殆どの方が参加し、巨大横穴古墳の内部に入り、家型石棺を見て、触れて、感じるという体験できて一同大感激でした。

その後、玉津島明神と忍阪坐生根神社（忍阪山がご神体）を参拝しながら、午後4時、大和朝倉駅に戻ってきました。桜井市の観光ガイドをはじめ地元を愛してやまない忍阪区の皆さんのおもてなしとおもいやりに溢れたご親切とご配慮に感謝申し上げますと

ともに、今後「記紀万葉の里忍阪」の素晴らしさを機会あるごとに伝えて行きたいと思いを。

（T. H記）

◎ 芸能の神様 天河大辨財天社 例大祭を訪ねて

奈良県内の歴史文化資源と食文化の探訪行事として実施

実施日 平成25年7月17日

参加者 35名

当日は朝早く近鉄大和八木駅に集合、貸切バスで天川村へと出発しました。梅雨が明けたとはいえ、前日まで不安定な天候が続いており空模様が心配でしたが、当日は快晴に恵まれ、吉野の山への峠からは、金剛葛城の山々がはっきりと見る事が出来ました。

午前10時、天川村の中心川合地区の旅館まえひらに到着。早速広間に集合、大山先生から天川村についてのお話を伺いました。大山先生は天川村で教鞭をとられ、退職後、ボランティアとして天川村の案内をしておられます。



大山先生のお話

「聖地としての天川」を主題として天川村の魅力をお話いただきました。天川には

「清らかな水、ご神木、霊山、修験道、異次元の回路」と五つの魅力があり、清らかな水には大峰山系を水源に命を育む水、汚れを浄める力がある。ご神木が村内社寺に点在し、天と地を結び、神仏が降りるとされる。霊山霊峰により先祖の霊が護ってくれとされ、山の神が棲む。神仏が存在する証を求める場としての修験道があり験力を身につける場とされている。天川は霊波との出会いを感じる場とされ、宇宙空間につながるコンタクトポイントとされている。複数の方がUFOを確認しているそうであり、一層聖地としての天川を知ることが出来ました。

お話の後天河大辨財天社へ移動、天河大辨財天社は日本3大弁財の筆頭とされる霊験あらたかな神社で、芸能の神様としても有名です。当日は例大祭に当たり多くの神事、奉納が行われており、この時間は修験者による採燈護摩厳修の行事が行われておりました。天河社が守り続ける修験道及び神仏習合の伝統を見ることができました。

慌しく旅館まえひらに戻り昼食をいただきました。旅館まえひら創作の郷土料理「だいはん料理」で、天然の鮎の塩焼きをはじめ、あまごの刺身、甘露煮、さらにコンニャク、お芋、豆などを煮込んだ「だいはん鍋」をいただきました。すべて天川村地産の食材です。

昼食後、再度天河大辨財天社へ参拝し、本殿前の能舞台に於いて観世流による奉納能を見学しました。本年奉納された能は「山姥」で人間国宝である第9世片山幽雪氏が演ぜられました。直接見る機会の少ない能楽でしたが、皆様は、厳かに、優雅に演じられる能の世界に魅せられ、熱心に見学をされていました。

能の余韻が覚めやらぬ中、塔頭寺院の一つであった来迎院境内の「ご神木」天然記念物の弘法大師お手植えと伝えられる大銀杏や、南朝時代の御所跡を見学しました。

その後最後の見学地、円空仏を祀られている栃尾観音堂へ向かいました。天河神社から栃尾集落へは一昨年の大水害の復旧工事を見ながら進みましたが、土砂崩れの痕や、当時のお話を聞き、自然の厳しさをあらためて感じました。

栃尾観音堂は江戸時代初期の遍歴の僧「円空」の作である4体の仏像が祀られています。「聖観音菩薩立像」をはじめ4体の円空仏は。全国に数多くある円空仏の中でも傑作といわれているそうです。穏やかな微笑をたたえ、魅力ある仏像ばかりでした。栃尾の人々により大切に伝承されていることに感動いたしました。



奉納 能 (イメージ)

天河弁財天社ホームページより



栃尾の観音堂へお参り



聖
観
音
菩
薩
立
像

3. 奈良県企業の企業文化、企業風土の調査、紹介

◎ 「小山株式会社本社工場」の見学会を開催

実施日 平成25年2月18日

参加者 20名

小山株式会社を訪問、本社工場と、カインズハウスを見学しました。

当日は雨の中、奈良市大森町にある本社に集合いたしました。まず小山社長から小山(株)の歴史、事業内容の概略を説明していただきました。

小山(株)は明治26年の創業で本年創業120年を迎えられます。創業以来寝具を中心としたリース事業を手がけられ業界のトップを走られております。特に昭和

35年に全国に先駆けて病院の寝具の洗濯を手がけられた、この業界のパイオニアであります。全国に営業網を広げられ、病院を始め、老人ホームや保育所などの福祉施設などへ清潔で心地よい寝具を届けることに取組んでおられます。



概要の説明



説明される小山社長

の方が働いておられ、1日当りマットの丸洗い150本、布団16,000枚、布団丸洗い1,600枚、その他の洗濯が出来るそうです。病院からの返却物について減圧室を設け、菌の付着等の恐れのあるものを処理している。等の説明をしていただきました。

その後2班にわかれ、工場内を見学いたしました。

工場内は大型の洗濯機、乾燥機が何台もおかれ、マットを丸洗いする機械もあり寝具を中心とした洗濯物の処理が行われておりました。工場内は、通路等に色分けされ汚れたものと、洗濯済みのものが混ざり合わないよう工夫をされておりました。

社員の方はきびきびと働いておられま



工場内の見学

したが、見学者が通ると挨拶をされ、社員教育が徹底されておりように感じました。

工場見学後、カインドハウスの見学をしました。カインドハウスは介護関連事業部の販売店として最新の介護用品を販売、設置等をされている事業です。2階や段差を上がるリフト、お風呂やトイレのモデルなど改良され日々進歩する介護用品を見学し、介護保険により費用がどのようなになるのかといった説明をお聞きしました。家族の介護や、自身の将来を見据え？興味深くお聞きしました。



カインドハウスの見学

◎ 奈良に息づく企業人列伝の発行

本年度より新たな事業として奈良の風土に育まれ成長するユニークな企業を対象に記録・調査と経営トップの取材を通じて「奈良に息づく風土産業企業人列伝」として製作、発行しました。

- ① 清光林業株式会社社長 岡橋清元
4月 1日 発行
- ② 小山株式会社社長 小山新造
6月 4日 発行
- ③ 大和ガス株式会社社長 中井隆男
8月19日 発行



在庫が少々あります。希望者にお分けいたします。(実費)

Ⅲ 今後の予定

- 9月 8日(日) 吉野川紀の川源流祭
- 9月26日(木) 企業見学会 三輪そうめん山本
- 10月26日(土) 第4回大仏書道大会
～27日(日)
 - 作品展示(26日～27日、大仏殿西回廊)
 - 席書会(27日 大仏殿西回廊)
 - 講演会 「大仏様を造った字」 馬場基
(27日 14時から 金鐘ホール)

事務局より

6月4日で足立伸之助理事が事務局長を退任されました。

新事務局長 岡田耕一(旧事務局次長)

ご支援よろしくお願いします。

理事会構成

理 事 長	堀井 良殷	関西・大阪 21 世紀協会 理事長
副理事長	中村 憲兒	奈良交通(株) 取締役会長
専務理事	江並 一嘉	元(株)近鉄百貨店 副社長
特別顧問・理事	森本 公誠	東大寺 長老
特別顧問・理事	山口 昌紀	近畿日本鉄道(株) 取締役会長
理 事	足立伸之助	近鉄ケーブルネットワーク(株) 相談役
理 事	安細 恭弘	マルチメディアコンサルタント
理 事	飯田 圭兒	(株)近鉄百貨店 取締役社長
理 事	猪熊 兼勝	京都橘大学 名誉教授
理 事	上野 誠	奈良大学 教授
理 事	卜部 能尚	ウラベ木材工業 代表
理 事	扇谷 泰之	(株)シードコンサルタント 取締役会長
理 事	大辻 康夫	奈良町情報館 特別顧問
理 事	岡橋 清元	清光林業(株) 取締役会長
理 事	岡村 元嗣	岡村印刷工業(株) 取締役社長
理 事	榎木 康雄	(株)日昂食品 代表取締役
理 事	菊池 攻	奈良トヨタ自動車(株) 取締役社長
理 事	久保 昌城	竹茗堂 代表
理 事	小山 新造	小山(株) 取締役社長
理 事	近東 宏光	共同精版印刷(株) 取締役会長
理 事	豊澤 安男	奈良豊澤酒造(株) 取締役社長
理 事	中井 隆男	大和ガス(株) 取締役社長
理 事	中寫 實男	奈良中央信用金庫 相談役
理 事	西口 廣宗	(株)南都銀行 取締役会長
理 事	増尾 正子	増尾グループ 常務取締役
理 事	森下 泰行	元近畿日本鉄道(株) 副社長
理 事	森本 俊一	三和澱粉工業(株) 取締役会長
理 事	山本 太治	(株)三輪そうめん山本 取締役社長
理 事	吉川 勝久	KNT-CTホールディングス(株) 取締役会長
監 事	中寫 大	中寫大会計事務所 所長
監 事	福嶋 重博	奈良県サッカー協会 名誉会長

(50音順 平成25年6月30日現在)

2013年8月発行

編集 足立伸之助、福嶋重博、岡田耕一

発行 NPO法人 奈良二十一世紀フォーラム

〒630-8244 奈良市三条町 511-3 奈良交通第2ビル